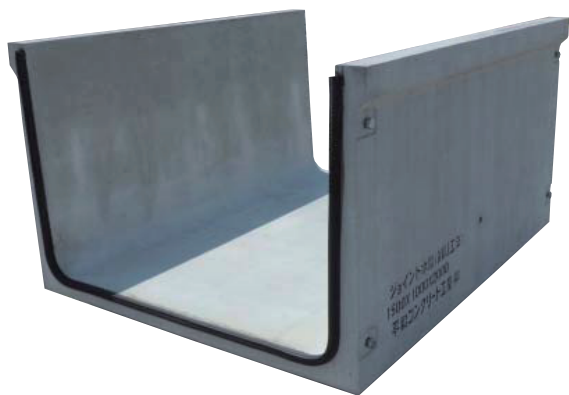


ジョイント水路



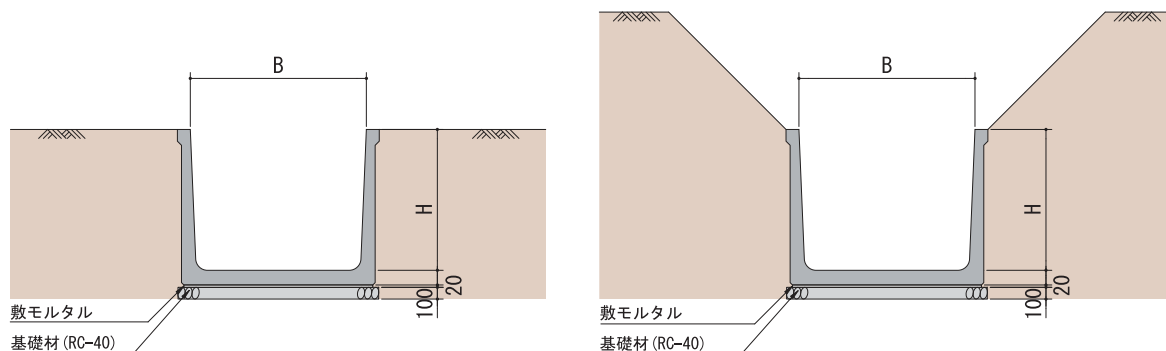
■説明

ジョイント水路はコンクリート2次製品の欠点であった接合部の変位、漏水を特殊な接合工法で接合することで克服した開水路です。継手部は抜群の強度（抵抗力）を有し継手部の変位を極めて微小とし接合部の漏水を完全に防ぎ「用水」または「汚水」を確実に処理することが出来る完成された開水路用コンクリート2次製品であります。また、施工性においても経済性に優れ、従来工法の欠点を大幅に解決し、より安くより早く、より正確に仕上げる事が出来、信頼性が高く布設後の維持管理が容易な水路です。

■特長

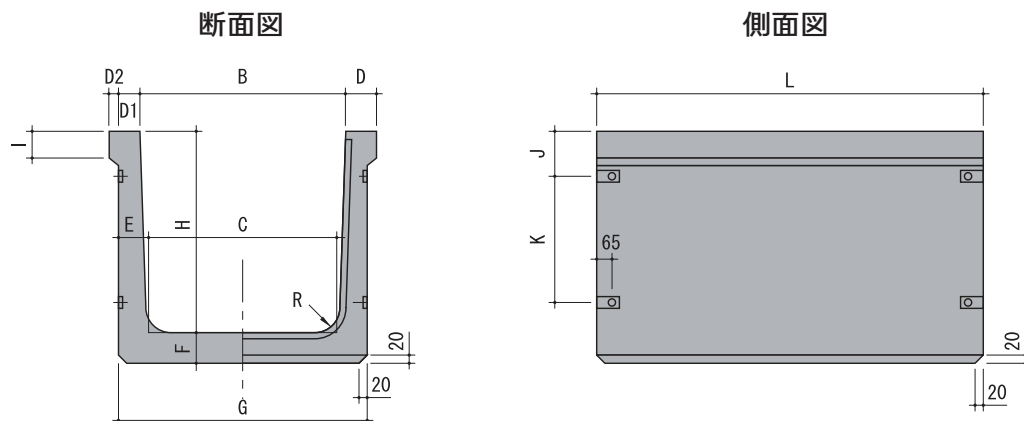
- ・伸縮性に富んだ目地、変位の少ない継手によって漏水を完全に防ぐことが可能です。
- ・継手部に強度を有することにより、基礎工事を簡略化し、工事費を安価に仕上げる事が出来ます。
- ・良質でない地盤でも安心して使用出来、地盤の沈下、隆起等による上下変化の変位、また側圧によるハラミ出しに対して大きな抵抗力があります。
- ・目地材として、ゴムシール材が工場で予め取り付けてあり、現場での目地施工、養生が不要です。
- ・耐候性、耐オゾン性、耐老化性にすぐれた目地材（プロロピレンゴム）の使用と目地部のズレを防ぐ継手工法で、目地機能を完全に長く保持し、水路の信頼性が高く布設後の維持管理が楽で経済的です。

標準構造図



ジョイント水路

■形状寸法



■寸法重量表

製品寸法(mm)														参考重量 (kg)
B	H	L	C	D	D1	D2	E	F	G	I	J	K	R	
400	400	1997	370	80	60	20	75	75	520	60	270	—	60	484
500		1997	470	80	60	20	75	75	620	60	270	—	60	522
500	500	1997	460	80	60	20	80	80	620	60	335	—	60	617
600		1997	560	80	60	20	80	80	720	60	335	—	60	657
800		1997	760	80	60	20	80	80	920	60	335	—	60	737
500	600	1997	460	90	65	25	85	85	630	80	155	370	80	752
600		1997	560	90	65	25	85	85	730	80	155	370	80	794
800		1997	760	90	65	25	85	85	930	80	155	370	80	879
900		1997	860	90	65	25	85	85	1030	80	155	370	80	922
1000		1997	960	90	65	25	85	85	1130	80	155	370	80	964
500	700	1997	450	95	70	25	95	95	640	80	155	470	80	915
600		1997	550	95	70	25	95	95	740	80	155	470	80	963
700		1997	650	95	70	25	95	95	840	80	155	470	80	1010
800		1997	750	95	70	25	95	95	940	80	155	470	80	1058
1000		1997	950	95	70	25	95	95	1140	80	155	470	80	1153
1200		1997	1150	95	70	25	95	95	1340	80	155	470	80	1248
500	800	1997	440	100	70	30	100	100	640	80	160	565	80	1039
600		1997	540	100	70	30	100	100	740	80	160	565	80	1089
800		1997	740	100	70	30	100	100	940	80	160	565	80	1189
1000		1997	940	100	70	30	100	100	1140	80	160	565	80	1289
1200		1997	1140	100	70	30	100	100	1340	80	160	565	80	1389
600	900	1997	530	100	70	30	105	105	740	80	160	665	80	1215
800		1997	730	100	70	30	105	105	940	80	160	665	80	1320
900		1997	830	100	70	30	105	105	1040	80	160	665	80	1373
1000		1997	930	100	70	30	105	105	1140	80	160	665	80	1425
1200		1997	1130	100	70	30	105	105	1340	80	160	665	80	1530
1500		1997	1430	100	70	30	105	105	1640	80	160	665	80	1688
600	1000	1997	520	105	75	35	110	110	740	100	185	740	100	1366
800		1997	720	105	75	35	110	110	940	100	185	740	100	1476
1000		1997	920	105	75	35	110	110	1140	100	185	740	100	1586
1200		1997	1120	105	75	35	110	110	1340	100	185	740	100	1696
1500		1997	1420	105	75	35	110	110	1640	100	185	740	100	1861

1. H1000以上の製品、寸法表に記載のない幅の製品は担当営業にご確認ください。

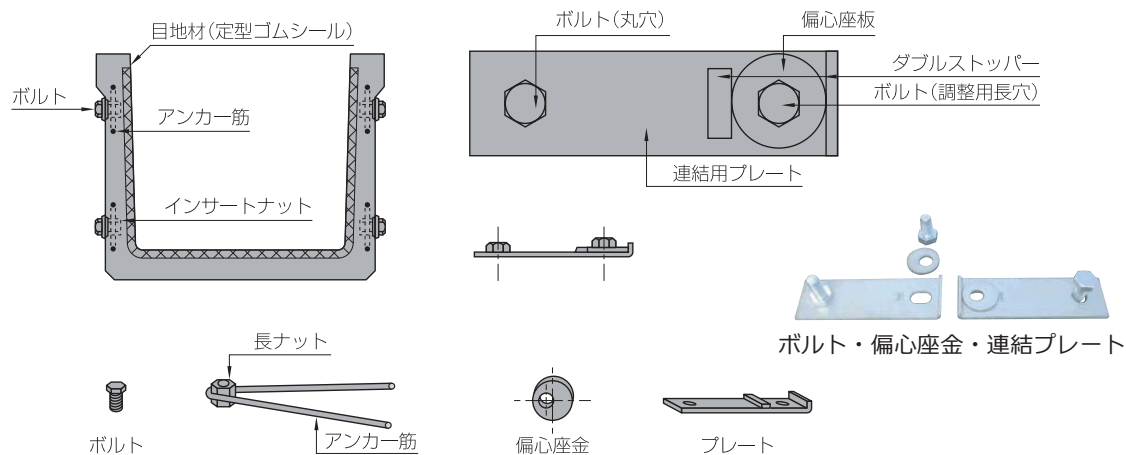
ジョイント水路

継手部の説明

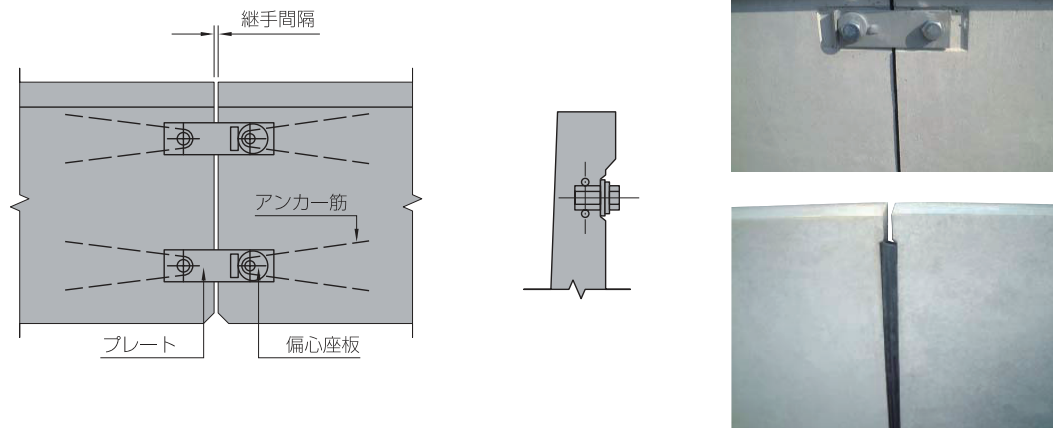
継手部を構成する部材はアンカー筋を溶接して、製品本体に埋設された連結用長ナット、製品を連結するプレート、ボルト、およびプレートのダブルストッパーと共に継手部の変位を防止する偏心座金とからなっています。これらの部材の働きにより、継手に抜群の強度（抵抗力）があり地盤の沈下、側圧による水路本体の水平移動等の変位は極めて微小となります。

また、目地材料を工場で予めセットすることにより現場での目地処理が一切不要となり、完全な目地処理が出来、継手部の固定とあいまって水密性が完全に保たれます。

継手を構成する各部材



継手部材の取付図



特長

- ・伸縮性に富んだ目地、変位の小さい継手によって漏水を完全に防ぐことができます。
- ・継手部に強度を得ることにより、基礎工事を簡略化し、工事費を安価に仕上げるができます。
- ・良くない地盤でも安心して使用出来、地盤の沈下、隆起等による上下の変位、また側圧によるハラミ出しに対して大きな抵抗があります。
- ・目地材として、ゴムシール材が工場で予め取付けてあり、現場での目地施工、養生が不要です。
- ・耐候性、耐オゾン性、耐老化性にすぐれた目地材(プロロピレンゴム)の使用と目地部のズレを防ぐ継手工法で、目地機能を完全に長く保持し、水路の信頼性が高く布設後の維持管理が楽で経済的です。